

皮革にプリントしても割れない 伸びるインクで靴の新業態が誕生



靴試作ラボはシェアオフィス「KLC Craft Lab」としても運営されている。3Dプリンター、レーザー、厚物UVプリンター、デザインシミュレーターなどが完備され、クリエイターの挑戦を応援している。「10年後を見据えて取り組んでいる」と大山常務。

○ ーランドデュー・ジー、(株)の厚物UVプリンター「LEF-20」が、「靴」の業界でも活躍している。導入したのは、神戸レザークロス(株)(本社・神戸市)。同社の大山克己常務は、

「LEF-20を入れたことで、新業態が生まれつつある」と言う。

靴の製造工程を簡単に説明すると、最初に靴の木型モデルをモデルリストと呼ばれる職人が作り、底材(靴底など)やアッパー(底材以外の部分。布や革など)等の資材を木型を元に組み合わせて作り上げる。通常の靴メーカーは、木型モデルを職人に頼み、底材やアッパーなどの資材は専門の業者から購入する。しかし、神戸レザークロスでは木型からパーツまで全てを一貫して開発、製造。さらに自社製造した靴でブランドを展開、販売するための小売店も全国

に出店している。レディースシューズショップ「ESPERANZA(エスペランサ)」の店名を聞いたことのある読者も多いだろう。

製造から小売まで可能な一貫体制を取っているのは靴業界でも同社のみ。そこがなぜ「LEF-20」を必要としたのだろう。大山常務に聞くと、

「当初は弊社の試作スペースで必要だと考えたんです」。

靴の試作にUVプリンターが活躍

神戸レザークロスは東京支店(台東区)に靴の試作ラボを持つ。そこには「LEF-20」をはじめレーザー加工機、3Dプリンターが並び、さながらFabスペースのように。3Dプリンターで木型モデル作りに挑戦したり、ヒール部分をデザイン。レーザー加工機で

company profile

神戸レザークロス株式会社
[本社] 〒653-0031
兵庫県神戸市長田区西尻池町2-5-12
<http://www.kobe-leather.co.jp/>

【事業内容】

- ◎靴の資材販売/靴のパーツ開発/靴の製造
- ◎靴の小売店展開
- ◎靴の専門学校「エスペランサ靴学院」の運営
- ◎シェアオフィス「KLC Craft Lab」の運営



①熊本綾氏(左)と金久潤平氏(右)。



①靴の試作ラボ。運営する神戸レザークロス㈱は1948年創業。従業員は約700人（アルバイト含む）。靴の資材開発から製造、販売までの一貫体制を構築。レディースシューズの「ESPERANZA」などを展開。1973年には靴作りの専門学校「エスペランサ靴学院」を開校。以来、現在まで1000人近い卒業生を輩出し、靴業界の人材育成にも取り組んできた。



UVプリンターを使って作られた色とりどりのカラフルな靴がズラリと並ぶ（上）。ラボにはLEF-20やレーザー加工機、3Dプリンターも（下）。



①は全てLEF-20でプリントされたサンプル。①中敷き。②アッパー。③中敷きとアッパーのデザインが統一された女性用の靴。④スマホカバー。⑤バスケース。⑥スニーカー。よく見るとつま先部分にグロスインクが使われ、艶のある仕上がりになっている。

決め手は皮にプリントしても割れないインク

同社新商品開発営業部の熊本綾氏は、「アッパーなどパーツ試作に活用しています。弊社はパーツの開発、卸もおこなっていますが、他の靴メーカーから思い通りの柄

アップパーなどに使われる革をカットしたり、メダリオン加工（デザイン的な穴あけ）する。そこに「LEF-20」で自由なデザインをプリントするので。

が欲しいと言われたんです」。

通常、アッパー部分はあらかじめプリントされた大きな革を抜型でカットする。その際、抜く場所によって左右の柄の見え方が違うことがあった。また、試作段階で版を作って印刷するとコストや時間がかかる。しかし「LEF-20」なら、左右対称のデザインを1足分だけプリント可能。試作が効率よくできるようになった。

「メーカーの担当者でデザインを相談しながらそのままプリントできるのも、とても驚かれます」（熊本氏）。

また同部の金久潤平氏は、「導入の際には他メーカーも比較検討しました。その結果、LEF-20のインクが一番割れにくかったんです。さらに、グロスインクでの表現が可能なので、立体感が出せるのも魅力的です」。

靴の製造時、アッパー部分は力をかけて引つ張られる。それに耐えるだけのインクと、担当者を満足させる高精細なプリントを実現したのが、「LEF-20」だったのだ。

ちなみに同社は靴以外に渋谷の「109」などに开店する雑貨店「Grandage（グランドエッジ）」や「Lilto（リット）」なども展開。そこで販売する革製スマホカ

パーやバスケースもLEF-20でプリントしているそうだ。

LEF導入で新ブランド、靴をオーダーメイド？

「LEF-20で革や合皮にプリントしたところ、想像以上によかった。発色が良く堅牢度も高い。当初はアッパーのみのプリントを考えていましたが、今では中敷きや底材にもプリントしています。ここから誕生したのが、オーダーメイド靴のブランド「ROMA（イロナ）」なんです」と大山常務。

「ROMA」は靴に好きな写真等をプリントできる新ブランドで、LEF-20があつてこそ実現できるもの。4月2日に大阪駅直結のファッションビル「LUCUA1100（ルクアイーレ）」に开店、9月頃からセミオーダーの受注をスタートする。大山常務は、

「自分だけのものが欲しい、という時代になりました。『ROMA』はそうしたニーズに応えることができる新たなブランド。LEF-20によって新業態が生まれつつある、と言っても過言ではない」。

皮革、合皮にプリントしても「インクが割れない」というLEF-20の特性が、靴業界に新風を巻き起こしつつある。